

各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問 い 合 せ 先 : 取締役 管理本部長 添田 優作
 (T E L : 03-3210-1212)

2018年9月期 第2四半期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 連結売上高 稼働技術者増で前期比33%増収 ⇒ 31四半期連続で前期比増収達成
- ② 連結営業利益 建設技術者派遣及びエンジニア派遣ともに堅調で前期比+101%の大幅増益
- ③ 連結営業利益率 派遣単価・稼働率の改善、販管費の低減施策により前期比+4.5ptの13.4%に上昇

2. 経営成績

- ① 連結 (百万円)

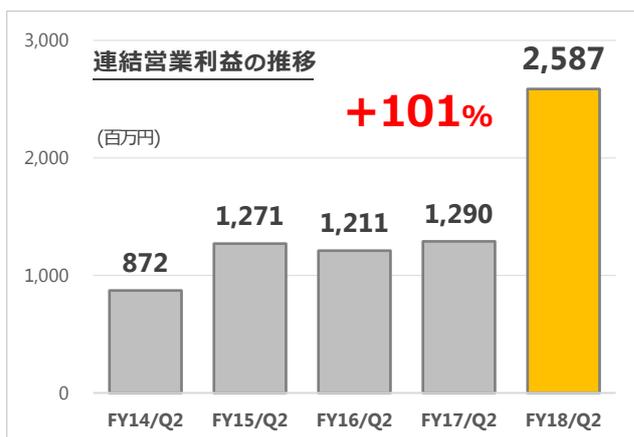
	2017年9月期 第2四半期	2018年9月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	14,517	19,338	+4,821	33.2%
営業利益	1,290	2,587	+1,297	100.5%
経常利益	1,368	2,557	+1,188	86.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	822	1,871	+1,048	127.4%

- ② 建設技術者派遣事業 (百万円)

	2017年9月期 第2四半期	2018年9月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	10,901	14,392	+3,490	32.0%
営業利益	1,460	2,520	+1,059	72.6%
3月末技術者数(人)	3,865	4,852	+987	25.5%
6ヶ月平均技術者数(人)	3,643	4,686	+1,043	28.6%

3. サマリー

- ① 売上高 建設技術者派遣及びエンジニア派遣ともに、稼働人数の増加、稼働率の上昇により30%超の増収となりました。その結果、連結売上高では33%増収の19,338百万円となりました。
- ② 営業利益 建設技術者派遣事業にて派遣単価・稼働率が上昇、その結果、売上総利益率が32%と前年比2ptの改善、対して採用費等の費用は微増にとどまり73%増益となりました。エンジニア派遣事業では、稼働率の上昇により54%増益、その他事業では、取捨選択が進み損失が限定的となったため、連結営業利益では、前期比101%増益の2,587百万円と2倍増を達成いたしました。



～第3四半期以降について～

建設技術者派遣事業にて、派遣単価、稼働率の好調が継続。採用費は計画通り前期とほぼ横ばいを維持していることから、引き続き高い利益率となる見通し。エンジニア派遣事業では、稼働率の向上で採用人数増加による費用増をこなし、しっかり利益貢献見込み。その他事業では、取捨選択が進み、損失額はほぼ増加しない見通し。

※ 連結業績予想: 売上高 390 億円 (前期比 +27.8%、進捗率 49.6%)、営業利益 45 億円 (前期比 +90.5%、進捗率 57.5%)